



自分たちで摘み取った新芽を天ぷらにした児童

### もえぎ色の茶園に児童の笑顔

#### ■お茶摘み体験とお茶の天ぷらづくり

秋間小学校の3年生24人が社会と総合学習の一環として、お茶摘み体験とお茶の天ぷらづくりを4月23日に行いました。

この体験は、学校支援員の野々本すみゑさん夫婦のご好意で毎年行われているもので、児童らは学校を見下ろす茶園で、この日のために用意された摘みの手ぬぐいを巻き、教えてもらった一芯二葉の摘み方で丁寧に新芽を摘み取りました。

摘み取った新芽は、学校へ持ち帰り、さっそく天ぷらにして季節の味を楽しみました。

### 長藤の甘い香りが会場を包む

#### ■東光寺長藤まつり

4月20日から5月4日まで、東光寺長藤まつりが開催され、近隣住民や市外から訪れた来場者で会場がにぎわいました。

東光寺の長藤は、磐田市の行興寺から熊野の長藤を一枝譲り受け育てられ、花房が1メートル以上も垂れ下がり、紫色の美しい花をつけます。

期間中は、演芸やおでんの販売のほか、夜間にはライトアップも実施されました。

訪れた人たちは、長藤の香りを楽しみながら、食事をするなど思い思いの時間を過ごしました。



藤棚から垂れ下がるきれいな長藤を楽しむ親子連れ

### 抱負を胸に看護の道へ第一歩

#### ■静岡県中部看護専門学校入学式

本市と焼津市、藤枝市、吉田町が運営する静岡県中部看護専門学校の入学式が4月9日、同校講堂で行われました。

本年度の入学者は36人で、本市からは大橋怜奈さん（新庄区）と小塚留菜さん（落居区）が入学しました。大橋さんは「一人一人の患者さんを精神的、身体的に支えられる看護師になりたい」、小塚さんは「いろいろな患者さんのニーズに応えられるような看護師になりたい」とそれぞれ抱負を語ってくれました。



抱負を語ってくれた大橋さん(左)と小塚さん(右)



意見交換会で出席者にアドバイスする大石さん

### 中小企業・小規模企業を応援

#### ■市ビジネスサポートデスク「まきサポ」開設記念セレモニー

市ビジネスサポートデスク「まきサポ」が開設されることを記念し、4月11日に旧片浜小学校体育館でセレモニーが開かれました。

セレモニーには、協力・連携団体の皆さんや相談を考えている事業者らが出席。中小企業診断士で「まきサポ」専門相談員を務める大石徹さんの講演が行われたほか、企業の課題などを共有する意見交換会が行われました。

「まきサポ」は事前予約制で、毎月第2・第4金曜日に旧片浜小学校に開設されます。



多くの来場者でにぎわう会場を、職員扮する田沼意次侯(右)が視察

### 相良湊で城下町の活気を

#### ■田沼意次みなと祭2019

田沼意次侯生誕300年記念事業「田沼意次みなと祭2019」が4月14日、相良シーサイドパークなどで開催されました。

このイベントは、郷土の偉人で相良藩主の田沼意次侯が相良湊を整備し、城下町を発展させたことにちなんで、地域活性化を目的に行われたものです。会場には、生しらすをはじめ、市内外の特産品の販売ブースや商品・製品などの展示ブースが並んだほか、市民団体によるパフォーマンスなどのステージイベント、地元漁業関係者の協力による漁船への乗船体験、海産物などが当たる大抽選会なども行われ、市内外から訪れた多くの家族連れなどでにぎわいました。

### 若い力で市民の安全安心を守る

#### ■平成31年度牧之原市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月7日、相良中学校体育館で行われ、新入団員40人と女性消防隊員3人が新たに辞令を受けました。

伊藤正哉団長は「訓練を重ね、消防団活動に早く慣れてくれることを願います。若い力を十分に発揮し、自覚と責任、誇りを持って消防団生活に花を咲かせてほしい」と新入団員を激励しました。

新入団員の柳原章宏さんは「市民の皆さんの安全安心を守るよう、これから頑張っていきたい」と意気込みを語りました。



伊藤団長から辞令を受ける新入団員



贈呈された発電機を生徒に紹介する榛原中学校の山田校長

### 携帯型発電機を災害時に役立てて

#### ■榛南ロータリークラブ創立40周年記念事業で発電機を贈呈

榛南ロータリークラブ（長谷川秀男会長）はこのほど、創立40周年記念事業として、榛南地区の5つの中学校（御前崎、相良、榛原、牧之原、吉田）に携帯型発電機1台を贈呈しました。

榛南ロータリークラブでは、昨年の台風24号による広域的な停電被害を受け、地域住民の避難所となる中学校で災害時などに役立ててほしいと考え、発電機の贈呈を決めました。

榛原中学校の山田泰巳校長は「災害時はもちろん、生徒の防災学習にも役立てたい」と話しました。

ズームイン！  
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。  
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎030040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp